

千葉菌類談話会通信 31 号 目次

■ 森と海を繋ぐもの	古川 久彦	4
■ 図書室の不思議な出会い	土肥 壮哉	6
■ 「ティラミステングタケ」	波部 健	8
■ ちょっと変わったきのこ3態	大久保 泰和	10
■ 地球のお掃除屋さんをとっ捕まえよう	井上 佳男	14
■ 菌類の識別形質を蒐める — Linked Open Data の公開	中島 淳志	16
■ きのこと友だちになろう！ — 児童のためのきのこ講座	前川 啓二	19
■ 開催報告 マトからみたきのこたち	吹春 公子	21
■ 野生きのこの採集と食	小倉 豊史	22
■ F u n g i	橋本 ルイコ	25
■ スイス旅行で出逢ったきのこ	氏家 文憲	28
■ アステカへの誘い ウイトウラコチェとマジックマッシュルーム	山本 充弘	31
■ 改定 — きこの結婚 —	古川 久彦	37
■ 森本彦三郎が菌床栽培法と原木栽培用菌種の発明に至った経緯の考察	萩本 宏	42
■ きこの・かび 関連図書の紹介	吹春 俊光	63
■ 2014 年度 行事報告	吉田悦子・吹春公子	70
■ 投稿のご案内		74

表紙に寄せて

こんにちは、アミガサタケ。お友だちも一緒に我が家へいらっしやいませんか。お足元の苔もそのままどうぞ。

こうして昨年連れ帰った小さなアミガサさんたちは、冷蔵庫で出番を待っておりました。シリカゲル入りのタッパウエアから、からからに乾いたアミガサさんを取り出すと、なんとも美味しそうなにおいで。コーヒーで薄茶色に染めた紙に水を引き、花白緑の顔彩を溶くと、描けるような気がしてきました。(片山 周子)

